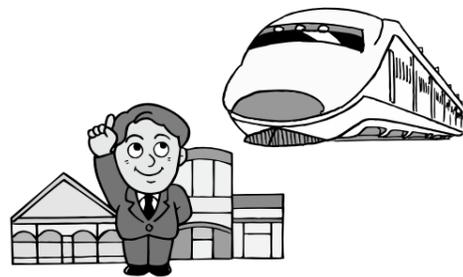


新幹線プロジェクト

駅周辺土地利用・新産業立地



新幹線効果を生揮できる土地利用計画の策定

北陸新幹線は当地方と東京および金沢方面とを結び、人、物などを短時間に大量に運ぶ交通機関です。新幹線の開通は、企業進出による雇用の拡大、観光客の流入による商業の発展、新幹線通勤による居住者の増加など、様々な経済的効果をもたらすものと期待されています。

土地利用計画の策定

新幹線飯山駅の周辺地域は、新幹線開業による経済的効果が発揮される場として注目を受けている地域であり、今後、より高度な土地利用を進めていくため新たな土地利用計画の策定が必要となります。

駅周辺の土地利用の実態を把握する必要があることから、新幹線駅を中心とした半径約1キロの範囲の調査を行いました。

(具体的に検討を行った場所は下表の9か所です)

検討を行った9か所のうち

北陸新幹線開業後の
主要駅間の距離・所要時間

東京	
距離	所要時間
150km	70分
軽井沢	
100km	40分(推定)
飯山	
140km	50分(推定)
富山	
60km	15分(推定)
金沢	
(未着工区間)	80分(推定)
新大阪	

具体的な活用方法・整備手法・費用を検討
(内容は次ページをご覧ください)

- 土地利用を検討する場所**
- ① 駅西線
 - ② 駅前市有地
 - ③ 駅西田中地籍
 - ④ 雪と寺の町シンボル広場
 - ⑤ 駅前民有地
 - ⑥ 第一中学校
 - ⑦ 市営金山住宅団地
 - ⑧ 金山・北畑付近の農地
 - ⑨ 北畑交差点周辺農地
- 現段階では課題の整理に留め、今後必要に応じて検討していくこととする。

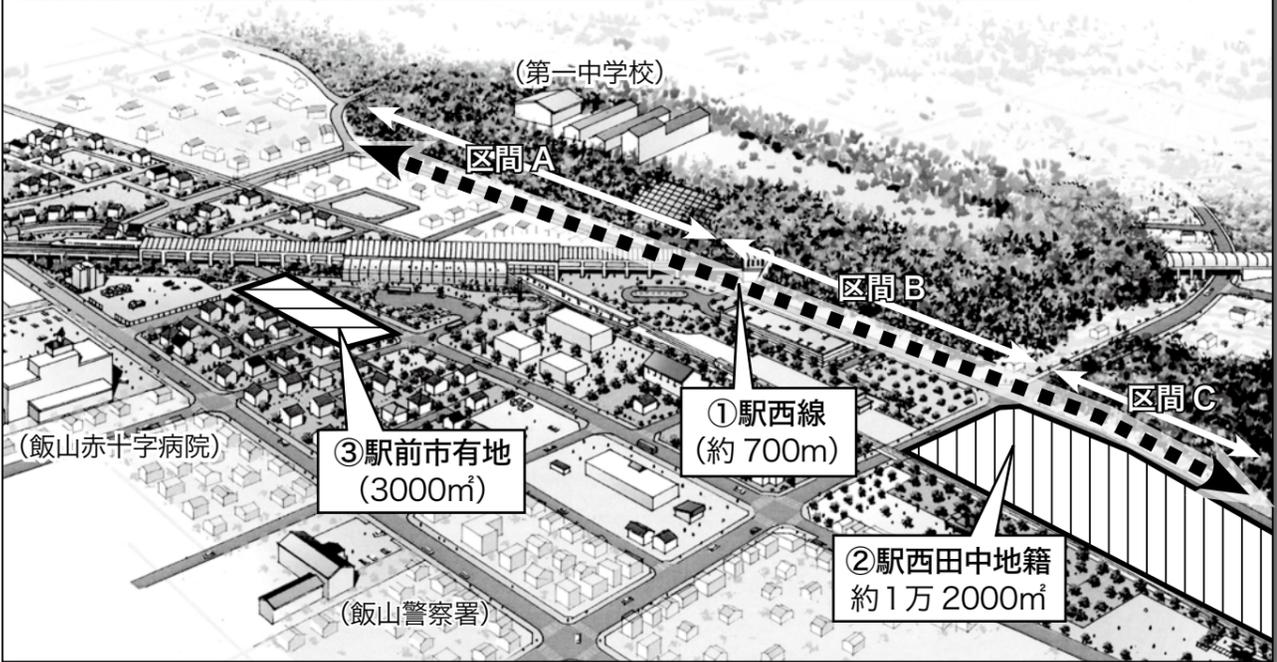
「検討を行った①～③の箇所の検討内容は次のページをご覧ください」

ち、駅西線、駅前市有地、駅西田中地籍の3か所については、具体的な活用方針等を検討しました。



駅前市有地の整備イメージ

駅前・駅周辺の土地利用計画、新産業立地の基盤整備イメージ図



新幹線駅開業に向けた市の行動計画を策定します②

北陸新幹線飯山駅開業まであと5年あまり。市内でも開業に向けた工事が進んでおり、市では新幹線の効果を最大限に生かすことができるよう、駅機能や土地利用、まちづくり等についてのアクションプラン(行動計画)を策定します。今回も先月に引き続き、このアクションプラン案の内容をお伝えします。

北陸新幹線アクションプランとは

北陸新幹線飯山駅開業の効果を最大限に引き出すための要点を明確にし、展開する施策の事業費とスケジュールを盛り込んだ行動計画(アクションプラン)を示すものです。

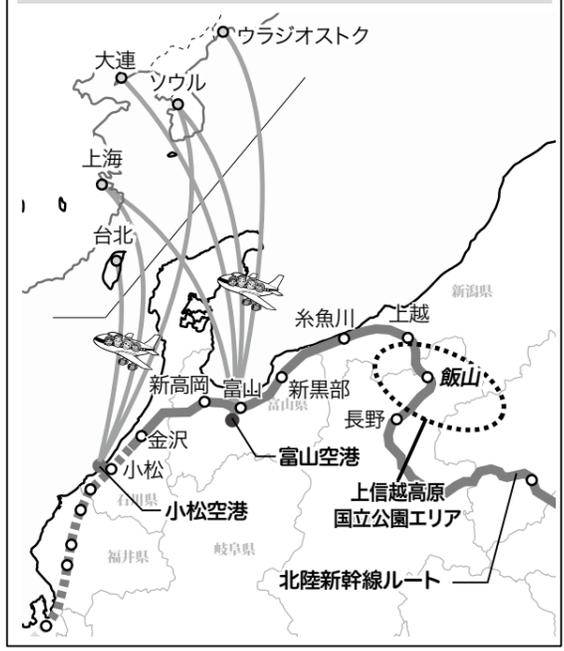
■ 具体的な整備方針

- 1 新幹線駅機能の充実
 - ① 利便性、機能の充実
 - ② 自然をコンセプトとした他の新幹線駅にはないインパクトあるデザインと整備
 - ③ 駅前広場、周辺民有地を含め、統一のないイメージ形成(飯山の自然を生かした景観、市街地への回遊誘導)
- 2 駅周辺土地利用・新産業立地
 - ① 駅西線
- 3 観光推進戦略
 - ① まちなか観光(回遊性のあるまちづくり)
 - ② 飯山市内観光
 - ③ 広域観光連携

北陸新幹線開業後の
主要駅間の距離・所要時間

東京	
距離	所要時間
150km	70分
軽井沢	
100km	40分(推定)
飯山	
140km	50分(推定)
富山	
60km	15分(推定)
金沢	
(未着工区間)	80分(推定)
新大阪	

新幹線で上信越・北陸方面とも連携し外国人観光客の誘致も



- ② 駅西田中用地への企業立地
 - ③ 駅前市有地(3000㎡)の利用検討
 - ④ 周辺地域の土地利用の検討
- 3 観光推進戦略

今回は「2 駅周辺土地利用・新産業立地」および「3 観光推進戦略」についてお伝えします。